

世界初！日本生まれのジェネリックコスメ MUQ ムキュ

MUQとは

何万、何十万もする高機能化粧品を日常に取り入れるために…
多くの女性が憧れるが手が届きにくい高級高機能化粧品の機能性をできるだけ下げず、手に届きやすくするために作られた基礎化粧品です。

高級高機能化粧品だけではなく、様々な化粧品のカテゴリーから良い点を抽出し、導入しました。



種別	長所	短所
プチプラコスメ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価格が安い ・ 購入しやすい（ドラッグストアで買える） ・ ケチケチせず贅沢に使える ・ 継続使用ができる ・ 肌に合わなかったとしてもあきらめがつきやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高機能な成分は多く配合されていない ・ 使用感があまり良くない ・ 効果があまり感じられない
ハイブランドコスメ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最新鋭の機能成分が配合されている ・ 効果がすぐ感じられる ・ 容器がしっかりしている ・ 高級品を使っているという満足感がある ・ 使用感が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高価すぎて継続購入ができない ・ プチプラコスメとの違いが感じられない ・ 1回分のサンプルでは購入すべきか判断できない ・ 人工的な香りが強い
自然派コスメ・ オーガニックコスメ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然なものを使用しているから安心 ・ ハーブやアロマの香りが良い ・ 肌に優しい ・ 環境に優しい（ロハスな）感じがする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーガニックなどは価格が高い ・ 天然成分の含有量が低い製品も自然派コスメとして販売されていて分かりにくい ・ 安全性が必ずしも高いとは限らない ・ 成分独特の香りが心地よくない ・ 使用感が良くない
古来からある美容法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価格が安い ・ 材料がどこでも手に入る（例：きゅうり、米ぬか、ヨーグルト、牛乳等） ・ 安心感がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備が面倒 ・ 本当に効くのか分かりにくい ・ 保存がきかない

MUQ

各化粧品のカテゴリー特徴、消費者が化粧品を選ぶ基準を出来る限り一致させるために作られたのがMUQです。

消費者が化粧品を選ぶ基準

- ・ 使用感（テクスチャー）
- ・ 安心感、安全性
- ・ 体感（効果）
- ・ 価格
- ・ 香り
- ・ ブランド

化粧品の新たなカテゴリー「ジェネリックコスメ」

MUQでは各化粧品カテゴリーの長所を生かし短所を削り、消費者が化粧品を選ぶ基準を満たすため、独自製法の「ジェネリックコスメ製法」を行っています。
開発・製造から販売までトータルで徹底的に無駄なものを省いています。

独自製法「ジェネリックコスメ製法」特徴

開発コスト・安全性への懸念が大きい最新原料を使用しない

新たな原料開発は開発コストが大きく掛かります。また、製品上で使用実績が少ない場合、後にトラブルが発生することもあり、MUQでは古くから使用され、効果の実績もあり、安全性が高い原料を採用することでコスト削減・安全性向上を実現しました。
MUQで使われている原料は色々なところで目にする原料のみです。



売り文句のための「コンセプト成分」より 品質を左右する「基剤」を重要視。類似品は作らない

100%同じものを作った場合それはただの類似品、コピー品です。
MUQは各化粧品の基本となる原料に注目しました。売り文句として配合される「コンセプト成分」を除き、化粧品の質を大きく左右する元となる材料「基剤」を改良していくことで各カテゴリーの長所に近づけることに成功しました。
一般的に「基剤」は美容成分を除くテクスチャーを決める基本的な成分と認識されていますが、MUQでは直接機能に結びつく材料は美容成分も含め基剤としています。
そのためMUQは100%基剤である化粧品となります。
無駄に美容成分を配合しないことから高品質でありながら価格を抑えることができます。



開発の手間、必要な原料への費用は惜しまない

基剤の配合バランス等の開発には3年の期間を費やしています。新しい技術や機械は一切使っていませんが、それ以外のステップには手間と時間を掛けて開発しました。
必要であると判断した材料は高価なものでも採用しています。
但し、先に記載した通り、実績の浅い原料に関しては採用せず、配合バランスを工夫することで安心と機能のバランスを得ています。

OEMの製造現場に自社社員が参画することに成功！

OEMとは、製造する側が発注元のブランド名で製品を製造するシステムですが、一般的なOEM開発で発注側は開発現場には入れません。
ビジネスルール上詳細のレシピが発注側に明かされないことから、細かな検討ごとはOEMメーカーに任せるといった形式になります。
この方式だと細かな基剤の検討が発注側主導での細かな開発が難しくなります。
とはいえ、自社で開発機関を持つと、コストが掛かりすぎるため、中小企業ではなかなか取り組めません。
MUQでは自社開発機関（ラボ）を物理的に持たず、開発者として自社社員が現場に入ることに成功。経験豊富な研究者と共に自身で開発することで開発にかかる費用を削減しました。自社開発のような体形で開発をしています。
通常のOEM方式とは異なり、自身で開発することにより細かなレシピまで検討することが可能となり、高品質の製品を作ることが可能となりました。

ジェネリックコスメ MUQ は、開発以外にも特徴があります

容器は日本製を採用、無駄なコストは掛けずシンプル包装

過度なデザインや包装はコスト削減のため使用していません。

化粧品容器の見た目は「気持ち」に影響する部分なので最低限「気持ちの良さ」を損なわないデザインを採用。

衛生面、使いかたの良さは高基準を保てるよう日本製の容器を採用。

広告費の削減⇒製品自体の質に影響するもののみ費用を使います

化粧品の価格に大きく影響する広告費は出来るだけ使用しません。

西洋と東洋の融合⇒99%自然由来成分で出来ています

100%自然由来成分では使用感や衛生面での不安があるため、微量の化学的成分を採用しています。

それぞれの長所を融合することで、99%自然由来成分でありながら、化学的成分を多く使用する製品の使用感に近づけることが出来ました。

インターネット販売を中心とした販売形態

いつでもどこでも購入できるように、インターネット販売を中心とした販売体系を採用。

量販店などのPB形式に近い、自社で製造し、卸を通さず直販をすることで低価格を実現しました。

その他MUQの特徴

- ノンシリコン ●ノンパラベン ●エタノール、フェノキシエタノールフリー ●石油系合成界面活性剤不使用
- 合成香料不使用… 香りは美容成分「ダマスクバラ油」を活用。精油のため、肌に香りが残りにくく、香水等の香りを邪魔しません。
- キャリアオーバー成分無し… ※キャリアオーバー成分とは、表示を義務付けられている基準値以下で含まれている成分。
- 合成防腐剤不使用… 美容成分のカワラヨモギエキス、チョウジエキス、エチルヘキシルグリセリンの3成分が防腐効果を担っています。
- 高保湿なのに浸透が早く軽い仕上がり… 化粧水→美容液→クリームと浸透を待つ必要はありません。付けたらすぐに次のステップに移ることが可能です。
- 「ジェネリックコスメの海外展開」事業は、経済産業省の「地域需要創造型等起業・創業促進補助金」に採択されました。

期待できる効果

保湿を中心とし、シワ対策（小じわを目立ちにくくする）、ハリを生み出す（ふっくら）、肌荒れ等のトラブル改善、美白、毛穴のひきしめ等。

MUQ

製品ラインナップ



ハリアップモイストクリーム
50g <クリーム> 5,980円



ハリアップモイストセラム
50ml <美容液> 4,980円



ハリアップモイストローション
160ml <化粧水> 3,980円

[トライアルセット(約10日分) 化粧水:20ml 美容液:15ml クリーム:9g 1,000円]

